

沖縄21世紀ビジョン基本計画改定案について

平成29年1月

企画部企画調整課



沖縄21世紀ビジョン・基本計画・実施計画全体構成

21世紀ビジョン

将来像
5

基本計画
(計画期間10年間(H24～H33))

基本施策
36

施策展開
118

実施計画
(計画期間 前・後期5年)
(H24～H28・H29～H33)

施策
247

主な取組
(1,868)

PDCA
(毎年度)

()は中間評価対象(H24～27)の取組数

21世紀ビジョン

県民の参画と協働のもとに、概ね2030年のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性と県民や行政の役割などを明らかにした「**基本構想**」

県が初めて策定した長期構想で県政運営の基本的な指針となるもの

基本計画

「沖縄21世紀ビジョン」の実現を目指し、沖縄県が策定した初めての総合的な基本計画

「沖縄らしい優しい社会の構築」と「強くしなやかな自立型経済の構築」の2つの基軸的な考えのもと、ビジョンで示した5つの将来像の実現と4つの固有課題の克服に向けた「**基本方向**」や「**基本施策**」などを明記

実施計画

基本計画に掲げた基本施策を**具体化し推進**するための活動計画

基本施策の目的や「目標とするすがた」を示すとともに、「**主な課題**」や「**成果指標**」を掲げ、成果指標を用いた施策効果の検証や各施策に係る取組の進捗状況の検証などのPDCAサイクルにより基本計画の着実な推進を図る。



沖縄21世紀ビジョン基本計画の構成と改定案箇所

基本計画改定案策定のポイント

第3章「基本施策」については、中間評価結果を踏まえ新たな施策展開を明記する必要があるものなどを対象とした。

第2章(3、4)及び第4章、第5章については、第3章の改定内容と整合を図るための改定案となっている。

第1章及び第2章(1、2、5)、第6章については、計画の理念等を記載しているため改定案では追加・修正箇所はない。

沖縄21世紀ビジョン基本計画(平成24年5月)

第1章 総説

- 1 計画策定の意義
- 2 計画の性格
- 3 計画の期間
- 4 計画の目標

第2章 基本方向

- 1 基本的課題
- 2 基本的指針(自立・交流・貢献)
- 3 施策展開の基軸的な考え
- 4 将来像の実現と固有課題の克服に向けた施策展開の枠組み
- 5 計画の展望値～人口及び社会経済の見通し～

第3章 基本施策

- 1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して
- 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して
- 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して
- 4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して
- 5 多様な能力を發揮し、未来を拓く島を目指して

第4章 克服すべき沖縄の固有課題

- 1 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用
- 2 離島の条件不利性克服と国益貢献
- 3 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
- 4 地方自治拡大への対応

第5章 圏域別展開

- 1 基本的な考え
- 2 圏域間連携の強化による広域的地域圏の形成
- 3 圏域別展開の基本方向(北部、中部、南部、宮古、八重山)

第6章 計画の効果的な実現

- 1 沖縄振興特別措置法と本計画の関係
- 2 計画の実施方法等

赤枠 箇所が基本計画改定案箇所



中間評価～計画改定の流れについて

中間評価において、「主な課題」の解消状況と「成果指標」の達成状況を検証

中間評価の結果、

社会経済情勢の変化等により新たな課題等が生じ、現行計画にはない新たな施策展開を明記する必要があるもの

その他の要因により、これまでとは異なる観点からの施策展開を行う必要があるもの

等を改定の対象とした。

基本計画中間評価

計画策定時に設定した、
「主な課題」が今なお残っている

社会経済情勢の変化等により、
新たな課題が発生

その他の要因 により、
異なる観点からの課題が発生

<その他の要因>

外部環境の変化等

これまでの取組の加速化

成果を踏まえた施策展開

基本計画改定案

【改定無し】

現行の施策展開に沿った取組等を後期実施計画
で実施し毎年のPDCAにより課題解消を図る。

【改定有り】

新たな課題に対応した施策展開を明記

【改定有り】

外部環境の変化等による新たな施策展開を明記
取組を加速させるための施策展開を明記
成果を踏まえた新たな施策展開を明記

後期実施計画

基本計画改定案に追加した施策展開に沿った具体的な
取組等は後期実施計画において明記する。

今後の課題の評価・検証